

若手経営者ら 招き縁むすび

松江で全国大会

旧曆十月、神々が出雲に
集まるという伝承にあやか
り、県内や東京の若手経営
者らを招いて二十六日、松
江市内のホテルで「神在月
縁むすび全国大会」があっ

た。経営者や学識者、自治
体職員らでつくる実行委員
会と県、県商工会連合会の
主催。約二百六十人が参
加、討論や分科会を通じて
ネットワーク作りという
「縁むすび」を進めてい
た。

経済アナリストのピータ
ー・タスカさんが「企業家
精神の回復と日本の元気の
回復」のテーマで講演。
「企業の戦略は市場の主導
権をコストダウンで取る
か、差別化で取るかの二つ

だけ。田高でコストダウン
が難しい日本企業は、商品
の差別化で生き残りを図る
しかない」と指摘、「個人
も単なる社員にとどまら
ず、自分がほかの人間とど
う違うかを主張して差別化
を図るべきだ」と呼びかけ
た。

続いて下村澄・ニュービ
ジネス協議会相談役と小松
昭夫・小松電機産業社長が
加わったパネルディスカッ
ションがあり、成長する企
業やアジア市場の状況など
について話し合った。